

ある中小企業診断士の一週間 (Part2)

村松 正之

はじめに

昨年5月の設立記念特別号に「ある中小企業診断士の一週間」という文章を掲載させていただいた。「続編を書いてみる」という声に押されてまた恥をさらすことになってしまった。自由気ままな散文が面白いかどうかは執筆者の文才がものを言う。私のような技術系の人間は特許明細書や研究論文は苦にしないが、文学に属する文章は苦手である。にもかかわらず、臆面もなくしゃしゃり出るのは、生来の性格によるもので直しようがない。バカとおんなじ！

7月のある日曜日

前日の土曜日に仕事がなければ、普通なら高根カントリーに出かける日である。この春から「モノづくり補助金」の仕事に就いたので、顧問先企業のお手伝いを土曜日にさせてもらっている。おかげで日曜日のゴルフはできなくなってしまった。高根カントリーの中で40年の歴史をもつ『互隣会』という28名の同好会に参加している。会設立当時のメンバーは大概あの世に行ってしまったようだ。私が18年前に入会時にはシングルハンディーが10以上いたが、今は5~6名になってしまった。退会したのではない。『加齢とともに衰える、だが死なない』まさに高齢社会の縮図。おかげで今でも、ここでは若手である。そんなことを考えていたら突然、女房の声に我に返る。庭の掃除、犬のふん尿の片づけ、いろいろな命令が飛んできた。こっちにしてみたら1週間の疲れをとる日であるが、女房にしてみると1週間たまった雑用を亭主に片付けさせる日と決めているようだ。午後は買い物のお伴というか「奥様の運転手」、これで1日がつぶれてしまった。この奉仕をしておけば1週間は安泰だろう。

月曜日

朝5時30分起床、6時30分宇都宮へ出勤。終日、ものづくり補助金の仕事。1次採択で交付申請書の書き方を相談に来る企業と不採択でその理由と再チャレンジのためのアドバイスを求める企業の両方からランダムに訪問を受けるので、頭の中がゴチャゴチャになってしまう。生来の気性だから直しようもないが、「何にも書いてないんだもん、社長、そりゃ採点しろというほうが無茶だよ。これでも採点者は苦勞して60点もくれたんじゃないの。」という調子で説明をする。ここまで言われて2次でも落ちてしまったら大いに恨まれるだろう。そうならないように、1時間の範囲内で、順々に説明を加えて納得して帰ってもらう。合格確率は50%かな・・・

火曜日

朝5時30分起床、6時30分、車で出勤。前日と同じくものづくり補助金の仕事。午後5時、大急ぎで足利に取って返す。公民館に6時30分到着。早速将棋盤の前に座る。相手は小学3年のT君。彼は2年前に入会した時は読める漢字は将棋の駒ぐらいだった。最初は2枚落ち(飛車角抜き)で教えるレベルだったが、近ごろは平手(対等)で互角に近いレベルに上がっている。「6月中に村松さんに勝てるようになりたい。そうすれば8月に倉敷の小学生大会に出ても勝てそうな気がする。」とあって向かってくる。この会で彼が勝てないのは私一人になってしまったので、最後の牙城として徹底的にやっつけようと思うのだが、どういうわけか接戦になってしまう。なぜそこまで鍛えるのか、それは、彼の才能に期待しているからである。今年中に私を乗り越えれば、6年生で小学生名人になれるかもしれない。そしてプロへの道へ進んでもらいたい。そんな期待

があるから本気で戦っている。今日の成績は2戦して私の2勝、頑張れあと少しだT君。(後日談1参照)

水曜日

今日は高齢者雇用アドバイザーの仕事。市内の3企業を巡回訪問。年齢で就労を決めるということは差別ということで先進国では定年を廃止してきたが、日本では終身雇用制度が企業に定着したため定年が文化として社会に定着している。定年を前提に企業は人事制度を定め、従業員は人生設計を立ててきた。いわば、忠誠心をお金で買って来たというのが日本の労働問題の根幹にある。高齢社員を『とうの昔に卵を産まなくなった鶏』とまでは言わないが、それに近い考えの経営者がいることは確かである。定年になってからでは遅い！経営者にも従業員にも責任がある。要は『使える人材』を育てていない、あるいは勉強してこなかったのだ。

夜11時、就寝前にパソコンのメール確認。月曜日に面談した企業が応募計画書を送りつけてきた。添削しろということだが、いつもの癖でお節介を買って出る。『一読！この計画では合格レベルに達していない。まず第1に事業面……第3に技術面……』として、最後に『私、一応コンサルタントです。人をただ使っただけですよ』という一文を加えて返信。事務所外での対応は公平性という点で問題である。1社が採択されれば1社が不採択になるという結果が分かっているだけに、実は心が痛むのである。(後日談2参照)

木曜日

2次応募企業の書類が続々と到着。書類不備の対応に1日中没頭……あーしんど！

金曜日

県内のある企業訪問、テーマは5S。社長以下、若くて活力があるので楽しみな企業ではある。ということは、逆に言えば知識・経験不足で、どっちに行ってしまうかわからない企業ともいえる。初回なので自己紹介のあと概論の説明。といっても本はほとんど読まないと思われる連中である。まずは頭を柔らかくしなければ……ということで、『なぜディズニーランドはきれいなのか』『なぜ中国の町並みは汚いのか』『東京ドームの5Sを命じられたら、巨人軍の阿部選手になったつもりで考えてみよう』といった調子で話す。現場視察を終えて、『安心して床に座って酒でも飲めるようにしよう。それが最終目標です。』と言って本日の講義は終了。5Sは清掃ではなく、業務改善あるいは人財育成であることを、徐々に理解してもらおう積り。決して焦らない。

土曜日

朝、デッキに出て新聞を読みながらコーヒー。2か月前に、発育不全のまま巣立ってしまい、裏の工場の屋根で母鳥を呼んでいたカラスが庭先に降りてきた。女房が憐れんで毎日庭に餌を置いておくと、親鳥が素早く口にくわえて雛鳥に与えていた。野鳥の親子のきずなをしばらくの間は観測できたが、無事、育ったようだ。我が家にはノラ猫も訪問してくる。餌付けはどうかと思うが、女房にしてみるとかわいそうということで与えている。1年で数匹が代替わりして4匹目、今日来ているのは『チビ太』である。午後、女房が友達に誘われて買い物。助かった！たまには女房の顔を見ないのも息抜きになる。

*後日談1) 彼は8月の小学生東京大会で低学年の部で優勝。実力は3段だからこの成績は当然としても倉敷の大会には4～5段でないと無理。8～9月は私の3勝2敗、かなり接近してきた。

*後日談2) この企業は無事採択。社長のコメント、『メールで厳しく言われたので頭にきて、むちゃくちゃ闘争心がわいたよ。』よかったじゃない！社長